卒業研究報告書

2021/06/11

R4SA19 富岡真奈希

・個人の作業内容

・今週

私は研究内容を考えた。それを提示してチームメンバーで議論した。

・来週

　テーマ内容が決まったので,本格的に作成をしていきたい。

・現在の工程

今週は英単語だけではなく最も英語の日常会話で必要な発音も勉強することができるようにするため、正しい発音を聞くことができるシステムも導入していきたいという提案をした。

参考するサイトを見つけこれを元に作成をしたいと考えている。パクリをしない「https://iinanosakini2015.com/application/」

現状アプリ作成にて考察をしている。

作成するにあたって何が必要か何のアプリが必要か。

人間が苦手な単語などを考察

・現状の問題点

独自性とテーマは決まっているが,現状作成できるのか心配

・問題点に対する対策

作成方法をネットなどで調べメンバーと協力して作成する

・メンバーの作業内容

熊谷

ビジュアルスタジオで実際にプログラムコードを打った

薮田

フィードバックをもとにテーマを修正

プログラムを構成するにあたっての言語を検討中（アンドロイドスタジオ、パイソンなど）

参考するサイトを入手したのでそれをもとにオリジナルのプログラムを構築する

寺岡

・現在の工程

内容は日本人が英語を苦手としている理由についてである。いくつかの理由があるが、今回は３つに分けて説明していく。まず圧倒的に日本人は英語を聞く回数が少なく、その少ない中でもほとんどが英語を聴けてなく聞いているだけであるためである、聴けていないとは英語が耳に入ってはいるが意味も分からず、ただ左耳から右耳に流れているだけのようなものである。これだといつまで経っても英語力が上がらない。次に日本人にはシャイな性格が多いことも挙げられる。日本は民主主義なので協調性が大事にされる文化があるため他人と違い行動をとることを嫌う傾向がある。そのため分からない英語や英文があった場合も大勢の前で質問をすること嫌う傾向にあるため、英語力が上達しない。最後に日本人の英語は完璧を求めすぎていることである。例え日本語であっても知らない単語もあれば間違った使い方をしている単語もあるだろう。そのような状況下でも特に不自由なくコミュニケーションをはかれていることがほとんどなので、英語であっても間違った単語や分からない単語であろうと伝わるしコミュニケーションは図ることができるのだ。しかし日本語は幼き頃からの馴染みがある言語なので自信があり気にしないが、物心ついてから覚えようとする英語では、間違った英語を指摘されるのを極端に恐れて曖昧な英語力だと披露しにくいことが挙げられる。

・全体のスケジュール

　　・メンバーの現在の工程

　　　・一人一人導入するゲーム内容を提示したりアプリ構成を考えた。

・全体の進捗

・来週の予定

・チーム,メンバー

　プログラム作成続きを各自作業に取り組む。

・現状の問題点

　・チーム,メンバー

　・想定しているクオリティのものにするため取り組んでいるが、時間や技術の問題が起こる予感がしてならない。

・チームの作業分担の効率化を測る。

・問題点に対する対策

　・チーム,メンバー

・やはり下調べや諦めない心を持ち合わせ根気強く取り組むべきだろう。

・教科書やサーバーネットを駆使して構築